新見市エリア別・施設別入込客数等一覧

資料－１

区域	施設名	入込客数(万人)	区分	開設	年間収支(万円)				10年間収支(万円)			10年間入込客数(万人)
					市収入	委託料	修繕等	収支計	年間収支×10年	工事等	収支計	
北	新見千屋温泉いぶきの里	8	市	1996	1,000	0	387	613	6,130	△71,537	△65,407	115
	花見養魚センター	3	民	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	いぶきの里スキー場	1.7	市	2003	500	0	1,011	△511	△5,110	△45,572	△50,682	25
	別所アウトドアスポーツセンター	0.2	市	1997	0	366	181	△547	△5,470	△536	△6,006	6
	ふゆさと	0.4	民	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計	13.3										
	金持神社（日野町）	20	民･町	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	金持テラスひの（日野町）	2	町	－	－	－	－	－	－	－	－	－
北西	神郷温泉	2.8	市	1993	250	1,100	722	△1,572	△15,720	△16,974	△32,694	40
	三室峡・三室総合案内所	0.7	市	2003	0	33	0	△33	△330	0	△330	7
	三国窯	－	民	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	三室森の学校	0.01	市	2000	0	0	0	0	0	△150	△150	0.1
	神郷第一スキー場	－	市	1999	－	－	－	－	－	－	－	－
	計	3.5										
	ふるさと日南邑（日南町）	0.2	町･民	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	道の駅にちなん日野川の郷（日南町）	6.1	町	－	－	－	－	－	－	－	－	－
南西	道の駅鯉が窪	5.8	市	1996	0	450	500	△950	△9,500	△1,300	△10,800	60
	祥華	4.2	民	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	紙の館・親子孫水車	1.8	市	1991	0	150	115	△265	△2,650	△7,351	△10,001	35
	レストランしんごう	0.9	民	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	鯉が窪湿原	0.6	市	1980	0	110	79	△189	△1,890	△500	△2,390	7
	千子リゾート	0.02	市	1994	0	20	0	△20	△200	0	△200	0.2
	久保井野キャンプ場	0.01	市	1981	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	すずらんの園	－	市	1990	0	64	20	△84	△840	0	△840	－
	牧水二本松公園	0.03	市	1994	0	28	0	△28	△280	0	△280	0.3
	domaine tetta	－	民	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計	13.4										
	吹屋ふるさと村	8.4	市･民	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	帝釈峡	15	民	－	－	－	－	－	－	－	－	－
中央	あしん広場特産館	16.8	民	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	新見美術館	2.3	市	1990	523	3,431	30	△2,938	△29,380	△2,690	△32,070	25
	観光案内所	1	民	2019	0	1,351	0	△1,351	△13,510	0	△13,510	10
	御殿町センター・太池邸	1.5	市･民	1994	0	437	158	△595	△5,950	△1,596	△7,546	15
	さーちゃんミニヤギ牧場	0.05	民	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	まなび広場にいみ	－	市	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	ピオーネ球場	－	市	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	防災公園	－	市	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計	21.7										
北東	大佐山オートキャンプ場	1.4	市	1994	0	100	54	△154	△1,540	△5,340	△6,880	15
	おおさ源流公園	0.6	市	2001	0	174	13	△187	△1,870	△462	△2,332	7
	大佐風の湯温泉（B&G費用含む）	0.3	市	2005	5	1,430	57	△1,482	△14,820	△269	△15,089	9.4
	まんさく園	0.3	民	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	アーリーモーニング	0.15	民	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	方谷庵・山田方谷記念館	0.15	市	2004	0	145	0	△145	△1,450	0	△1,450	1.5
	大井野源流体験村	0.01	市	1996	0	20	2	△22	△220	0	△220	0.1
	計	2.9										
	道の駅がいせん桜新庄宿（新庄村）	8.6	村	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	勝山町並み保存地区（真庭市）	5	民･市	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	醍醐桜（真庭市）	3	民	－	－	－	－	－	－	－	－	－
南東	満奇洞	5	市	－	4,390	937	2,436	1,017	10,170	－	10,170	60
	井倉洞	5	民	－	768	323	0	445	4,450	－	4,450	60
	大原観光果樹園	2	民	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	田舎屋	0.9	民	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	猪風来美術館	0.1	市	2005	0	197	10	△207	△2,070	－	△2,070	1.5
	フルーツカントリー熊野	0.1	民	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	草間自然休養村カルスト山荘	0	市	1977	0	0	0	0	0	－	－	－
	MSファーム	0	民	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	羅生門・さくら公園	－	市･民	－	0	37	3	△40	△400	－	△400	－
	計	13.1										
	備中高原北房カントリー倶楽部	2.8	民	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	北房コスモスの里売店	5	民･市	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	北房ぶり市	1.5	民	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	備中鐘乳穴	－	民	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	北房なかつい陣屋（宿泊）	0.1	市	－	－	－	－	－	－	－	－	－

資料－２

令和2年度

第2回 新見市観光事業審議会資料

第3次　新見市総合計画

産業経済　産業の活力を高め、持続可能な地域経済をつくる

課題

❶ 特長ある観光資源の開発

■観光ニーズが変化する中で、「観る」観光だけでは限界を迎えており、本市の特長である自然資源や産業資源を活用した観光資源の開発を進める必要があります。
■観光滞在時間を伸ばすため、観光地相互の連携を強化するとともに、魅力ある「食」「体験」が提供できる体制づくりを進める必要があります。

❷ 観光基盤の整備

■施設の老朽化などにより観光地としての魅力が低下しつつあることから、計画的な更新・修繕が必要となっています。また、災害により被災した観光地の早期復興を進める必要があります。

❸ オール新見での観光振興体制づくり

■観光施策を進めていくためには、関係者が連携・協力していくことが求められます。
その中心組織として「新見市観光協会」の組織強化を図る必要があります。

❹ インバウンドの受入体制

■国内人口は減少していることから、観光客増加を目指すためには外国人観光客の誘致を行う必要があります。
外国人受入体制及び魅力的な観光ルートを整備する必要があります。

観光資源を磨き、交流を促進しにぎわいを創出する

主要な施策・取組

1 地域資源を活用した観光振興

- 観光関連事業者や団体などと連携し、市内の豊かな自然や歴史、文化などの地域資源を活用した観光客誘致に努めます。
- 観光商談会などを通じて、旅行事業者などへ旅行商品開発を働きかける取組を強化します。

2 観光客の受入体制の整備

- おもてなしの心を持って観光客を迎え入れる意識の向上を図るとともに、関係団体などと連携して、インバウンドへの対応を推進します。
- 新見市観光協会の体制強化を進め、関係者が連携して観光客誘致に取り組む仕組みづくりを進めます。

3 観光資源の魅力向上

- 既存の観光資源の魅力向上と新たな観光資源の掘り起こしを行い、新見ならではの特長ある観光ルートやＡ級グルメをはじめとした特産品・土産品などの開発を進めます。
- 食や体験をキーワードとした多様な観光の受入体制づくりを進めます。
- 観光施設や設備の計画的な更新・修繕を進め、魅力ある観光地づくりを進めます。

4 戦略的な情報発信

- ＶＲやドローン映像などを交えた観光情報をＳＮＳなどで発信し、観光客誘致につなげます。
- 集客の多いイベントなどでのＰＲ活動やマスコットキャラクター、「ふるさと大使」制度を活用した情報発信に努めます。

新見市観光アクションプラン

基本戦略 1　一元的な情報発信とブランドプロモーション

戦略プロジェクト		アクション	
①	情報受発信の体制構築	1	ポータル（WEB）サイト立ち上げ
		2	新見ファン開拓・組織化と情報発信
②	地域イメージ・ブランドの発信 プロモーションの展開	3	地域のキラーコンテンツ・イメージの積極的な発信 ここにしかないものに光をあてたストーリー
		4	市全体のプロモーション展開
③	運営管理の徹底と戦略組織づくり	5	定期的な顧客満足度調査の実施
		6	各種取り組みをマネジメントする人材の育成・登用

基本戦略 2　個々の魅力づくりと受入れ体制づくり

戦略プロジェクト		アクション	
④	地域に眠る資源の掘り起こしと 磨き上げ	7	地域の資源“お宝”発見とデータベース化
		8	地域の魅力を伝える地域学「新見学」ストーリーの編集
		9	地域ならではの特徴ある食・土産物の開発
⑤	地域資源を活かした体験プログラム づくり	10	資源の磨きあげによる特徴あるプログラムづくり
		11	プログラムの組み合わせによる着地型の（ディープな）旅行商品づくり
⑥	持続可能な受入れ体制づくり	12	運輸事業者や旅行会社との連携による商品の流通
		13	観光コンシェルジュ・まちづくり事業体の形成

新見市観光アクションプラン

基本戦略 3　地域間連携とネットワーク化

戦略プロジェクト		アクション	
⑦	新見市の観光・交流のものがたりづくり	14	他地域の魅力を知る～市民による観光・交流の実践
		15	「新見ものがたり」観光モデルコースづくり
		16	隣接市町や他県などの広域連携の実践
⑧	おもてなしの心・環境づくり	17	次世代の地域文化を担う人材育成とおもてなしの演出
		18	観光におけるユニバーサルデザインの推進と五感を活かした観光
		19	地域の魅力を伝達するガイドの養成とスキルアップ

基本戦略 4　交通環境整備と快適回遊の実現

戦略プロジェクト		アクション	
⑨	二次交通の充実化	20	観光乗合タクシー・観光タクシーの充実
⑩	快適回遊のためのアクセス環境づくり	21	地域を安心して巡れる交通環境づくり
		22	安全・快適な巡り歩き環境づくり

北エリア

132,969人

北エリア

今後の展開（案）

エリアの入込客数約１３万３千人。

神郷温泉（新見千屋温泉から３５分）、別所アウトドア（同２０分）、花見養魚センターとの連携を研究する。

金持神社（同２０分）との連携を検討する。

剣山、高梁川源流、牡丹園、ふゆさと、千屋牛、ワサビ、鳴滝、七曲がり、千屋ダム、赤坂城跡、楪城跡などの活用を研究する。

①新見千屋温泉いぶきの里

山陰地方からの誘客を図る。市内最大の入込客を市内の他施設に波及する仕組を研究する。

②いぶきの里スキー場

投資を抑える。グリーンシーズンの有効活用を研究する。

③別所アウトドアスポーツセンター

選奨土木遺産に認定された用郷林道七曲がり、鳴滝、千屋ダムを活用した取組を研究し、例えば、サイクリング、カヌー、釣りなどの体験型コンテンツを充実し、４年後に誘客を２倍、９年後に３倍の６千人とする。

北西エリア　34,432人

8 新見日南線　11 新見多里線　12 足立東城線

神郷温泉　27,508人

高瀬湖畔オートキャンプ場
302人

三国窯

三室森の学校　122人

三室峡・三室総合案内所
6,500人

足立石灰

北西エリア

今後の展開（案）

エリアの入込客数約３万５千人。

新見千屋温泉（神郷温泉から３５分）、花見養魚センター（同３５分）、別所アウトドア（同２５分）との連携を研究する。

鳥取にちなんむらモクモクキャンプ（同１５分）、道の駅にちなん日野川の郷（同２０分）との連携を検討する。

三室森の学校、三国窯、あまご養殖場、三室川ダム、氷室とうふ、長久牧場、トマト、健康王国などの活用を研究する。

①グリーンミュージアム神郷温泉

芝生化したグラウンドを活用する。アウトドアブームに乗り誘客増を図る。

②三室峡･三室総合案内所

春のしゃくなげまつり、秋の紅葉まつりを継続する。イベント以外での活用を研究する。

③神郷第一スキー場

センターハウスとゲレンデの活用を研究する。ゲレンデは当面放牧場として活用する。新たな投資を行わない。

南西エリア 133,872人

182 国道182号　33 新見川上線　441 下神代哲多線

レストランしんごう 9,245人

千子農村リゾート 185人

紙の館・親子孫水車 17,807人

荒戸山

道の駅鯉が窪 58,469人

鯉が窪湿原 6,160人

牧水二本松公園 300人

天王八幡神社・金ボタル

祥華 41,630人

久保井野キャンプ場 76人

すずらんの園

domaine tetta

吹屋ふるさと村

南西エリア

今後の展開（案）

エリアの入込客数約１３万４千人。
道の駅鯉が窪と紙の館・親子孫水車(道の駅鯉が窪から１５分)の連携を研究する。
吹屋ふるさと村(親子孫水車から３０分)、帝釈峡観光協会(道の駅鯉が窪から２０分)との連携を検討する。
矢神駅(御衣黄桜)、矢田石仏、太鼓田植、三光正宗、ペンションノア、イノシシ肉、レストランしんごう、バイオマス発電所、荒戸山、荒戸神社、哲多和牛牧場、リンドウ、荒戸山ワイナリー、天王八幡神社、祥華、すずらんの園（おもつぼ湿原）、健康の森、domaine tetta、クニファーム、野田山遺跡、山室軍平、備中神楽などの活用を研究する。

①道の駅鯉が窪

道の駅の人気が継続する中で内容の充実を図り誘客増につなげる。

②鯉が窪湿原

花が咲く５月から１０月にしっかり情報発信し誘客増を図る。有料ガイドの育成を検討する。

③千子農村リゾート

誘客が１００人を下回る場合は廃止を検討する。

南西エリア　つづき

今後の展開（案）

④牧水二本松公園

春の野点、秋の歌碑祭などのイベントを継続する。熊谷屋の活用を研究する。

⑤紙の館･親子孫水車

食堂のリニューアルオープンを契機に、マルシェなどの定期的なイベントの開催や紙すき体験の魅力発信を強化し誘客増を図る。

中央エリア

205,788人

180 国道180号

32 新見勝山線

まんさく運動公園

さーちゃんミニヤギ牧場 500人

観光案内所 9,865人

新見美術館 23,423人

城山公園

まなび広場にいみ

青龍寺

船川八幡宮

御殿町 4,000人

あしん広場特産館 168,000人

あしん広場グリーンセンター 20,000人

焼肉千屋牛 60,000人

ピオーネ球場

防災公園

中央エリア

今後の展開（案）

エリアの入込客数約２０万６千人。
あしん広場特産館(入込客数１７万人）、新見駅、市域周辺観光施設との連携を研究する。
吹屋ふるさと村(新見駅から３０分)との連携を検討する。
さーちゃんミニヤギ牧場、甌穴、城山公園、三日市ケレップ、まなび広場にいみ、まなびの森にいみ図書館、ピオーネ球場、防災公園、まんさく運動公園、城山公園、青龍寺、船川八幡宮、石灰採掘場などの活用を研究する。

①新見美術館

新見駅周辺まちづくりの核として魅力的な展覧会を継続するなどし誘客増を図る。

②御殿町

まち歩きガイドの会の知識・経験を継承する。備中町並みネットワークと連携する。太池邸(Trattoria Arca)、御殿町センター、にいみ雛まつり、土下座まつり、ベッキオバンビーノを有効に活用し誘客増を図る。

③観光案内所

土産物の充実と土産物販売所の周知など自主財源を確保しながら、観光振興に取り組む中心組織として強化を図る。

中央エリア　つづき

今後の展開（案）

④新見庄関連史跡

１９９０(平成２)年ボーイスカウト新見第一団がたまがき書状の返書を東寺から新見市へ伝達。１９９１年新見庄まつり開催。１９９３年中世たたら製鉄再現操業開始。１９９７年たまがき書状（東寺百合文書）が国宝に指定。史跡の価値・ストーリーを整理し、歴史を活かしたまちづくりを観光事業に発展させることを研究する。

北東エリア

28,640人

32 新見勝山線

58 北房川上線

112 大佐日野線

大井野源流体験村 58人

雄山・雌山

赤松渓谷

御洞渓谷

夏日の極上水

まんさく園 3,000人

岩山駅

おおさ源流公園 6,115人

大佐山

大佐山オートキャンプ場 13,497人

大佐風の湯温泉 3,125人

アーリーモーニング 1,500人

方谷庵・山田方谷記念館 1,345人

大佐サービスエリア

北東エリア

今後の展開（案）

エリアの入込客数約２万９千人。
まんさく園、アーリーモーニングと連携する。
道の駅がいせん桜新庄宿（大日高原から３５分）、勝山町並み保存地区（同３０分）、醍醐桜（同３５分）との連携を検討する。
大佐神社、方谷庵、大井野源流体験村、雄山雌山、赤松渓谷、御洞渓谷、夏日の極上水、大佐サービスエリア、岩山駅（鬱金桜）、ヒスイ輝石、大佐茶などの活用を研究する。

①大佐山オートキャンプ場　指定管理者は、シャワートレッキング、洞窟探検、カヌー体験などの体験型コンテンツを提供しており、他エリアの見本とする。トレーラーハウス３棟を整備し、アウトドアブームに乗って誘客を伸ばす。

②おおさ源流公園

大佐山オートキャンプ場と連携し誘客を伸ばす。

③大佐風の湯温泉

７月、８月、９月のみ営業。現状維持。

④山田方谷記念館

高梁川流域連携中枢都市圏事業などと連携し誘客を伸ばす。

南東エリア

131,383人

180 国道180号

50 北房井倉哲西線

78 長屋賀陽線

三尾寺

ピオーネ交流館

備北ハイランドサーキット

満奇洞 50,693人

草間の間歇冷泉

羅生門・さくら公園

大原観光果樹園 20,000人

草間自然休養村 544人

田舎屋 8,892人

井倉洞 49,052人

絹掛の滝

MSファーム 428人

石灰採掘場

フルーツカントリー熊野 600人

猪風来美術館 1,174人

南東エリア

今後の展開（案）

エリアの入込客数約１３万２千人。
大原観光果樹園、ＭＳファームと連携する。
真庭市北房地域の観光施設（１５分・満奇洞まで、３５分・井倉洞まで）との連携を検討する。
絹掛の滝、田舎屋、草間自然休養村、草間の間歇冷泉、大根、三尾寺、ピオーネ交流館、宇山洞、日咲坂鐘乳穴、バクダンキャンディー、備北ハイランドサーキット、備中神楽、済渡寺（あじさい）、法曽茶、フルーツカントリー熊野、石灰採掘場、Ｄ５１などの活用を研究する。

①満奇洞　黒字施設。閑散期の１２月から２月に有効なイベントを開催し誘客増を図る。

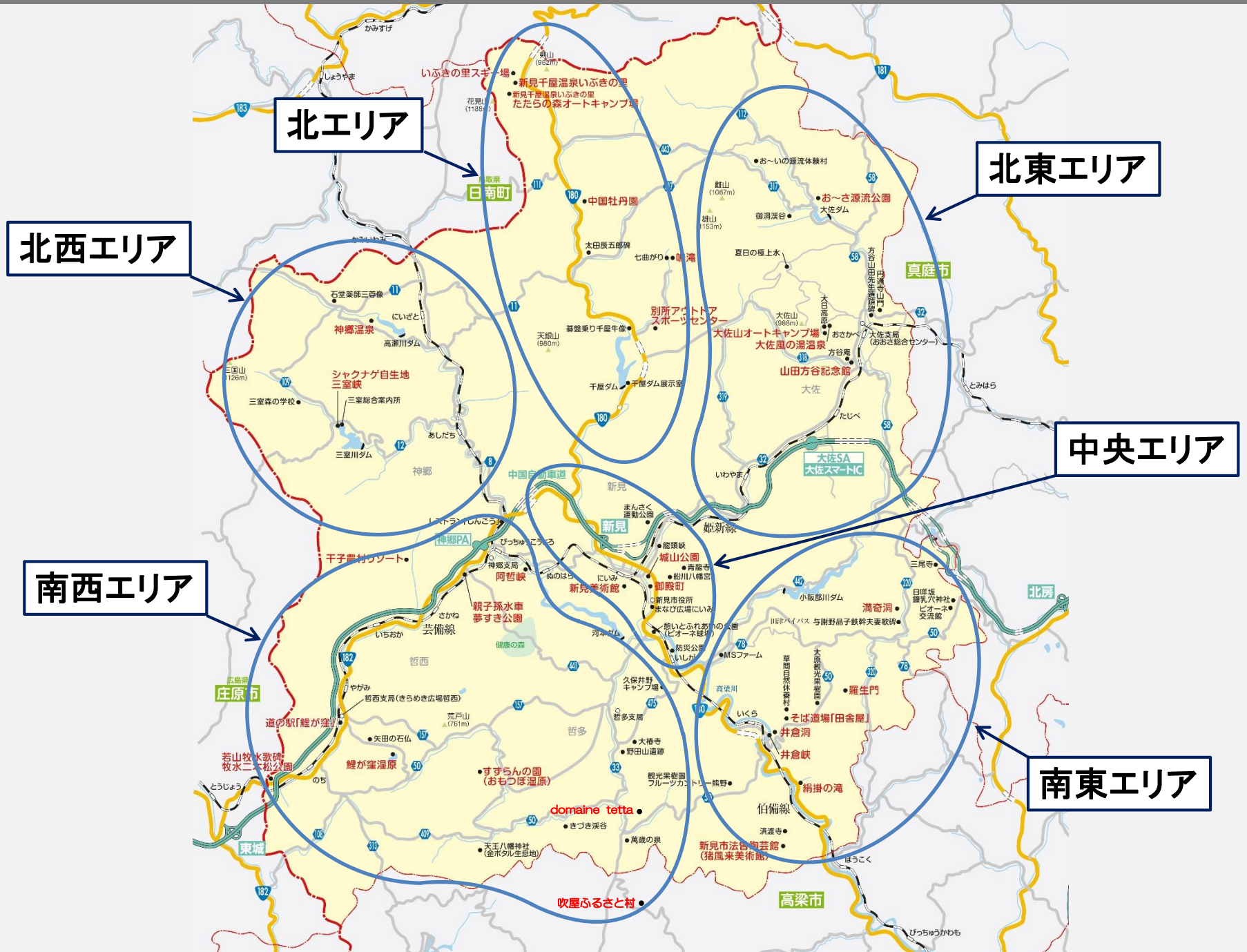
②井倉洞　黒字施設。洞前の浸水対策を実施し、大規模浸水災害からの復興を目指す。

③羅生門・さくら公園　観光庁の誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成実証事業で蓄積した知識・経験を活かして、滞在型コンテンツの造成と有料観光ガイドの実践に取り組み、誘客増につなげる。

④猪風来美術館

春・秋の縄文野焼き祭を継続するなどし、誘客増を目指す。

アクセス幹線道を基準とした観光ゾーニング



エリア別の観光誘客数

エリア	誘客数	主要施設名	公表誘客数	主要施設誘客数	備考
北	13万3,000人	○新見千屋温泉	80	80	
		○いぶきの里スキー場	16	16	
		○別所アウトドア	2	2	
		花見養魚センター		30	
北西	3万5,000人	○神郷温泉	28	28	
		三室峡		7	
南西	13万4,000人	○紙の館･親子孫水車	18	18	
		○鯉が窪湿原	6	6	
		○千子	0		主要20施設の集計から除外
		道の駅鯉が窪		59	
中央	20万6,000人	あしん広場		168	
		新見美術館		24	
		観光案内所		10	
		御殿町･太池邸		4	太池邸のみ集計
北東	2万9,000人	○大佐山オートキャンプ場	14	14	
		○おおさ源流公園	6	6	
		○風の湯温泉	3		主要20施設の集計から除外
		まんさく園		3	
南東	13万2,000人	○満奇洞	51	51	
		○井倉洞	49	49	
		大原観光果樹園		20	
		羅生門		0	
計	66万9,000人	○は主要10施設(大佐は合算)	273千人	595千人	

市 全 域

今後の展開（案）

主要１０施設の入込客数約２７万３千人、主要２０施設の入込客数約５９万５千人。

２０２４年度に主要２０施設で入込客数７０万人（１０万５千人・１７．６％増）を目指す。

入込客数の目標を達成するため、本市が抱える観光課題の克服に向けて策定した「第３次新見市総合計画」に掲げる４つの主要な施策・取組と「新見市観光アクションプランに掲げる」２２のアクション（行動）に取り組む。

取組にあたり、新たに、観光事業協議会（全体会）を設置し、市域全体の具体的なアクションについて協議する。

観光事業協議会に、本市観光事業の現状と課題を把握するために設定したエリアごとに６つのワーキンググループ（部会）を設け、それぞれのエリアで必要なアクションの実現に取り組む。

ワーキンググループでは、意見交換、入込客数（１７．６％）増に向けて、観光施設ごとに誘客の取組を検討し、エリア内の観光資源の掘り起こしのほか、エリア内各施設との連携、市内の他エリアとの連携のほか、近隣の市町村（高梁市、真庭市、新庄村、鳥取県日野町・日南町、広島県庄原市・神石高原町）との連携を検討する。

令和３年度に、観光事業協議会（全体会）は１回、ワーキンググループはエリアごとに２回開催する。

今後の展開のイメージ（案）

観光事業審議会　１５人

観光事業協議会

１回開催　**全　体　会**　１５人

- ①北部会
- ②北西部会
- ③南西部会
- ④中央部会
- ⑤北東部会
- ⑥南東部会

２回開催　**各　部　会**　２４人（４人×６部会）

部会構成メンバー（案）

①北部会	②北西部会	③南西部会	④中央部会	⑤北東部会	⑥南東部会
千屋野の里	高瀬振興会	妹尾観光	御殿町まち歩きの会	ネイチャークラブ	満奇運営協議会
新見千屋温泉	神郷温泉	道の駅鯉が窪	新見美術館	源流公園を守る会	井倉洞
黒田商事	三室観光組合	紙の館･水車	新見駅	アーリーモーニング	羅生門を守る会
別所アウトドア	三国窯	阿新中央観光	観光案内所	大佐観光	草間台エコ
いぶきの里スキー場	移住支援センター	ｔｅｔｔａ	新見庄ロマンの里	山田方谷記念館	フルーツカントリー
別所フィッシング				まんさく園	大原観光果樹園

新見市観光アクションプランの具体的なアクションの提案

資料－３

４つの基本戦略

１　一元的な情報発信とブランドプロモーション

１０の戦略プロジェクト		22のアクション		具体的なアクション
１	情報の受発信の体制構築	１	ポータル（ＷＥＢ）サイト立ち上げ	観光ＷＥＢサイトの強化を図ります。
		２	新見ファン開拓・組織化と情報発信	マスコットキャラクター、ふるさと大使、ふるさと市民制度の活用を積極的に行います。
２	地域イメージ・ブランドの発信 プロモーションの展開	３	地域のキラーコンテンツ・イメージの積極的な発信 ここにしかないものに光をあてたストーリー	「白と黒の不思議・・・」のブランドイメージについて再検討します。 白：石灰、鍾乳洞、温泉、雪、ワイン、御殿町、サギソウ、スズラン、米、滝・清流 黒：千屋牛、ピオーネ、キャビア、ワイン、御殿町、たたら、ＳＬ、木炭
		４	市全体のプロモーション展開	市の認知度を高めるためＷＥＢを中心に有効な広告宣伝を行います。 高梁川流域圏自治体（備中町並みネットワーク含む）と連携を図ります。
３	運営管理の徹底と戦略組織づくり	５	定期的な顧客満足度調査の実施	アンケートにより顧客満足度などを調査し、事業効果を分析・検証します。
		６	各種取り組みをマネジメントする人材の育成・登用	観光まちづくちをマネジメントする人材を育成・登用し、ＤＭＯの設立につなげます。

２　個々の魅力づくりと受入れ体制づくり

１０の戦略プロジェクト		22のアクション		具体的なアクション
４	地域に眠る資源の掘り起こしと磨き上げ	７	地域の資源“お宝”発見とデータベース化	新見庄や阿哲台といった地域特有の資源について情報を整理します。
		８	地域の魅力を伝える地域学「新見学」ストーリーの編集	地域の歴史、文化、風土、暮らし、偉人などの情報を整理します。
		９	地域ならではの特徴ある食・土産物の開発	地域の伝統的な食や特産物を生かした土産物の研究・開発を行います。 飲食店、学校などと連携し、新たな食（メニュー）の開発を図ります。 「千屋牛食べ歩きマップ」のような、新たな「食のマップ」を研究します。
５	地域資源を活かした体験プログラムづくり	１０	資源の磨きがけによる特徴あるプログラムづくり	民泊のほか農泊（農業体験ツーリズム）、産業体験ツーリズムを研究します。
		１１	プログラムの組み合わせによる着地型の(ディープな)旅行商品づくり	富裕層向けおよびインバウンド向けコンテンツを研究します。
６	持続可能な受入れ体制づくり	１２	運輸事業者や旅行会社との連携による商品の流通	周遊型観光ツアーや予約型観光タクシーを、岡山ディスティネーションキャンペーン(DC)などの各種イベントでＪＲやバス事業者などと連携させたり、観光商談会などでＰＲし誘客につなげます。
		１３	観光コンシェルジュ・まちづくり事業体の形成	多様な関係者が参画した観光地域づくりを行う法人（ＤＭＯ）の設立を目指します。

３　地域間連携とネットワーク化

１０の戦略プロジェクト		22のアクション		具体的なアクション
７	新見市の観光・交流のものがたりづくり	１４	他地域の魅力を知る～市民による観光・交流の実践	市内の各地域間の連携・ネットワーク化を図るため関係者による情報交換を行います。
				市の魅力を市民自らが再認識できるように市民向け制度を拡充し観光・交流を推進します。
		１５	「新見ものがたり」観光モデルコースづくり	季節ごとに魅力的な観光モデルコースの設定に取り組みます。
		１６	隣接市町や他県などの広域連携の実践	広域連携による観光モデルコースづくりなど隣接市町村との連携を提案します。
８	おもてなしの心・環境づくり	１７	次世代の地域文化を担う人材育成とおもてなしの演出	小・中・高校生に地域の魅力やすばらしさを伝え地域への愛着とおもてなしの心を育みます。
		１８	観光におけるユニバーサルデザインの推進と 五感を活かした観光	すべての旅行者(高齢者、障がい者、外国人)が不自由なく観光が楽しめる環境づくりを推進します。
				視覚だけでなく音や香りなど五感を通じて楽しめる観光コンテンツを研究します。
		１９	地域の魅力を伝達するガイドの養成とスキルアップ	魅力的な観光ガイドやインストラクターの育成とスキルアップを図ります。

４　交通環境整備と快適回遊の実現

１０の戦略プロジェクト		22のアクション		具体的なアクション
９	二次交通の充実化	２０	観光乗合タクシー・観光タクシーの充実	観光施設に限定せず予約型観光タクシーの魅力的なモデルコースづくりを進めます。
				岡山ＤＣに向けてJRや観光バスとタイアップ企画を研究します。
１０	快適回遊のためのアクセス環境づくり	２１	地域を安心して巡れる交通環境づくり	観光地を迷わずに巡れるよう案内看板などの整備や多言語化を図ります。
		２２	安全・快適な巡り歩き環境づくり	御殿町まち歩きマップやにいみ世間遺産まち歩きマップといった散策マップづくりを研究します。